

中小企業庁JAPANブランド育成支援事業「KYOTO PREMIUM」／ ファッション京都推進協議会「Kyoto Style Cafe 2006」開催



「KYOTO PREMIUM
メゾン・エ・オブジェ2006」



「KYOTO PREMIUM
国内展示会」



「Kyoto Style Cafe 2006」出展作品
TDA賛助会員片山文三郎商店「絞りあかり」



「Kyoto Style Cafe 2006」
会場商談風景

京都商工会議所では、中小企業庁JAPANブランド育成支援事業の一環として、1月下旬にフランス・パリで開催された欧州最大規模のライフスタイル見本市「メゾン・エ・オブジェ2006」に京都の染織・繊維の技を生かした新感覚の商品を「KYOTO PREMIUM」ブースとして出展した。今回発表した京友禅や西陣織、絞りなどの素材や技術を駆使した「京友禅真綿掛布団」、「西陣織チェア Nishijin-way - High Back Chair -」、「大唄絞りクッション」などのインテリア商品は、5日間の会期中、欧州を中心に訪れた多くのバイヤー、デザイナー・クリエイターから高い関心を集めた。さらに、2月には東京・表参道において国内凱旋展を開催し、開発商品の一部を展示発表した。

本事業は、京都の染織・繊維産業のライフスタイル分野におけるブランド価値の向上および市場拡大に向け、商品開発やブランドプロモーションを総合的に展開しているもので、18年度も「KYOTO PREMIUM」事業の拡充を図るべく計画を進めている。

一方、東京凱旋展と同じ会場では、今年で3年目を迎えるファッション京都推進協議会主催による「Kyoto Style Cafe 2006」も同時開催され、京都の染・織・繻の素晴らしい技術を紹介し、その高品質な素材や洗練された商品を首都圏において情報発信した。

今回は、京都の繊維関連26社・団体が多彩なコーディネーターらのもと、約150点の商品・試作品を展示。会場には、商社・メーカー・流通・デザイナーなど約480人が来場し、活発な商談・交流が行われた。開催後、京都市中京区の京都デザインハウスにおいて「Kyoto Style Cafe Selection 展」が企画されるとともにテスト販売も行われ消費者の反応を確かめた。今回の開催では、商談件数も増加し、首都圏での認知度も上がり本事業への関心が深まったことにより、18年度も継続開催し、さらなる購買層の拡大を図っていく予定をしている。

(京都商工会議所 産業振興部 商工振興担当 小川 正美)

■ 「メゾン・エ・オブジェ 2006」

会期：2006年1月27日（金）～31日（火）

場所：フランス・パリ・ノール見本市会場

■ 「KYOTO PREMIUM」国内展示会／「Kyoto Style Cafe 2006」

会期：2006年2月15日（水）・16日（木）

場所：ラユンヌ（東京都港区北青山ハナエモリビル）